

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年5月14日
【四半期会計期間】	第18期第1四半期（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）
【会社名】	サイボウズ株式会社
【英訳名】	Cybozu, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西 端 慶 久
【本店の所在の場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中 根 弓 佳
【最寄りの連絡場所】	東京都文京区後楽一丁目4番14号
【電話番号】	03 - 5805 - 9035
【事務連絡者氏名】	事業支援本部長 中 根 弓 佳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第17期 第1四半期連結 累計期間	第18期 第1四半期連結 累計期間	第17期
会計期間	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 3月31日	自 平成26年 1月1日 至 平成26年 3月31日	自 平成25年 1月1日 至 平成25年 12月31日
売上高 (千円)	1,295,035	1,582,234	5,197,102
経常利益 (千円)	352,083	399,753	264,088
四半期(当期)純利益 (千円)	201,215	309,448	188,643
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	232,592	290,146	275,599
純資産額 (千円)	4,173,060	3,811,731	3,616,093
総資産額 (千円)	5,446,702	5,339,633	5,747,880
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	4.19	6.74	4.00
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	76.6	71.4	62.9

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 当社は、平成26年1月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。第17期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動は次のとおりであります。

##### <サイボウズスタートアップス株式会社>

当第1四半期連結累計期間において、連結子会社であったサイボウズスタートアップス株式会社は当社が保有する株式の70%を売却したため、同社は連結子会社ではなくなりました。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果を背景に企業収益や個人消費の改善がみられる等、景気は緩やかな回復基調にありました。

このような状況の下、当社グループは引き続き、クラウド事業の拡大およびグループウェア製品の機能強化に注力しております。

エンタープライズグループウェア「サイボウズ ガルーン」シリーズにおいては、導入実績社数が、2013年12月末日時点で3,000社を突破いたしました。11年間のパッケージ版の安定した販売実績に伴い、2011年にリリースしたクラウド版が着実に実績を伸ばしており、大企業市場でのシェア拡大のため、機能強化を更に進めております。

また、kintoneをプラットフォームとした開発をサポートするためのコミュニティサイト「cybozu.com developer network」を開設いたしました。「cybozu.com developer network」は、全ての方が無料でご利用いただくことが可能で、技術情報や開発者ライセンスを無償提供し、エコシステムの更なる拡大の推進を図っております。

このような状況下において、当第1四半期連結累計期間の連結業績については、自社クラウド基盤「cybozu.com」上で提供するクラウドサービスの売上が積み上がり、売上高は1,582百万円（前年同期比22.2%増）となりました。利益項目については、前期に引き続き当第1四半期も開発投資や広告宣伝投資を積極的に行い、営業利益は397百万円（前年同期比10.6%増）、経常利益は399百万円（前年同期比13.5%増）となりました。また、四半期純利益については、関係会社株式の売却益32百万円を特別利益に、震災関連の寄付金8百万円を特別損失に計上し、309百万円（前年同期比53.8%増）となりました。

#### (2) 財政状態

資産の部については、当第1四半期連結累計期間中に未払賞与や未払法人税等及び配当金の支払いを行ったこと等により前連結会計年度末に比べ408百万円減少し、5,339百万円となりました。

負債の部については、当第1四半期連結累計期間中に未払賞与や未払法人税等の支払いを行ったこと等により、前連結会計年度末に比べ603百万円減少し、1,527百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間末の純資産の部については、第1四半期連結累計期間に309百万円の四半期純利益を計上したこと、また、94百万円の剰余金配当を実施したこと等により、前連結会計年度末に比べ195百万円増加し、3,811百万円となり、自己資本比率は71.4%となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は44百万円です。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	193,428,000
計	193,428,000

(注)平成25年12月9日開催の取締役会決議に基づき、平成26年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施し、発行可能株式総数は191,493,720株増加し、193,428,000株となっております。

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年5月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	52,757,800	52,757,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	52,757,800	52,757,800	-	-

(注)平成25年12月9日開催の取締役会決議に基づき、平成26年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。これにより株式数は52,230,222株増加し、提出日現在の発行済株式総数は52,757,800株となっております。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年1月1日(注)	52,230,222	52,757,800	-	613,810	-	976,765

(注)平成25年12月9日開催の取締役会決議に基づき、平成26年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。これにより株式数は52,230,222株増加しております。

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年12月31日現在の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成26年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 68,794	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 458,784	458,784	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	527,578	-	-
総株主の議決権	-	458,784	-

(注)平成25年12月9日開催の取締役会決議により、平成26年1月1日付で株式1株を100株に分割し、100株を1単元とする単元株制度を採用しております。

【自己株式等】

平成26年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都文京区後楽 1丁目4番14号	68,794	-	68,794	13.04
計	-	68,794	-	68,794	13.04

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,571,300	3,152,346
受取手形及び売掛金	845,153	941,521
仕掛品	5,067	1,470
原材料及び貯蔵品	13,234	15,927
繰延税金資産	166,990	33,351
前払費用	45,265	42,551
その他	22,128	15,277
貸倒引当金	786	1,079
流動資産合計	4,668,354	4,201,366
固定資産		
有形固定資産	318,521	367,497
無形固定資産		
のれん	319	-
ソフトウェア	97,784	75,524
ソフトウェア仮勘定	17,000	28,720
その他	8,422	7,981
無形固定資産合計	123,527	112,227
投資その他の資産		
投資有価証券	210,027	205,349
敷金及び保証金	153,055	151,130
繰延税金資産	263,148	291,994
破産更生債権等	3,525	114
その他	12,304	10,882
貸倒引当金	4,583	928
投資その他の資産合計	637,476	658,542
固定資産合計	1,079,525	1,138,267
資産合計	5,747,880	5,339,633
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,733	8,593
未払金	490,664	382,617
未払費用	468,713	118,208
未払法人税等	244,437	10,587
前受金	826,778	862,108
役員賞与引当金	22,000	-
その他	70,459	145,787
流動負債合計	2,131,786	1,527,902
負債合計	2,131,786	1,527,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	613,810	613,810
資本剰余金	976,765	976,765
利益剰余金	3,734,581	3,949,521
自己株式	1,799,953	1,799,953
株主資本合計	3,525,204	3,740,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,697	6,865
為替換算調整勘定	80,191	64,721
その他の包括利益累計額合計	90,889	71,587
純資産合計	3,616,093	3,811,731
負債純資産合計	5,747,880	5,339,633



## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,295,035	1,582,234
売上原価	96,726	162,862
売上総利益	1,198,308	1,419,371
販売費及び一般管理費		
人件費	435,543	489,480
業務委託費	39,113	51,362
貸倒引当金繰入額	270	49
のれん償却額	478	319
その他	363,543	480,598
販売費及び一般管理費合計	838,950	1,021,810
営業利益	359,358	397,561
営業外収益		
受取利息	270	326
受取手数料	574	472
還付消費税等	3,296	1,302
その他	136	301
営業外収益合計	4,278	2,402
営業外費用		
為替差損	11,553	210
その他	0	-
営業外費用合計	11,553	210
経常利益	352,083	399,753
特別利益		
関係会社株式売却益	-	32,024
特別利益合計	-	32,024
特別損失		
寄付金	12,000	8,000
特別損失合計	12,000	8,000
税金等調整前四半期純利益	340,083	423,777
法人税、住民税及び事業税	126,153	7,540
法人税等調整額	12,713	106,788
法人税等合計	138,867	114,328
少数株主損益調整前四半期純利益	201,215	309,448
四半期純利益	201,215	309,448

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201,215	309,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,662	3,831
為替換算調整勘定	29,714	15,470
その他の包括利益合計	31,377	19,302
四半期包括利益	232,592	290,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,592	290,146

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、サイボウズスタートアップス株式会社は保有株式の売却により当社の持分比率が低下したため連結の範囲から除いております。

(持分法適用の範囲の重要な変更)

当第1四半期連結会計期間より、連結子会社であったサイボウズスタートアップス株式会社は保有株式の売却により当社の持分比率が低下したため持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
減価償却費	63,989千円	60,674千円
のれん償却額	478千円	319千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月27日 定時株主総会	普通株式	122,802	256	平成24年12月31日	平成25年3月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月26日 定時株主総会	普通株式	94,509	206	平成25年12月31日	平成26年3月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

当社グループは、グループウェアを中心とするソフトウェアの開発・販売を主な事業とする単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

事業分離

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

株式会社ナノバンク

(2) 分離した事業の内容

サイボウズスタートアップス株式会社のソフトウェア事業

(3) 事業分離を行った主な理由

サイボウズスタートアップス株式会社の方向性、及び当社グループとの事業シナジー創出等について検討する中で、サイボウズスタートアップス株式会社の代表取締役社長である山本裕次氏より株式買収の申し出を受けました。両者で検討を重ねた結果、当社から独立した経営体制に移行させることが有益であると判断し、当社所有のサイボウズスタートアップス株式会社の株式の一部を株式会社ナノバンク(山本裕次氏の資産管理会社)へ譲渡することで合意いたしました。

(4) 事業分離日

平成26年3月31日

(5) 法的形式を含む事業分離の概要

受取対価を現金のみとする事業譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 事業譲渡益の金額

32,024千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	9,111千円
固定資産	507千円
資産合計	9,618千円
流動負債	5,367千円
負債合計	5,367千円

(3) 会計処理

当該譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却額との差額を「関係会社株式売却益」として特別利益に計上している。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

ソフトウェア事業

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

	累計期間
売上高	7,942千円
営業損失	7,999千円

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	4円19銭	6円74銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	201,215	309,448
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	201,215	309,448
普通株式の期中平均株式数(株)	47,969,700	45,878,400

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、平成26年1月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 5月14日

サイボウズ株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 牧 野 隆 一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐 藤 和 充 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。